

JA全農えひめ情報

あひんど

■特集

2012「愛媛みかん大使」を任命しました。

■JA直売所めぐり

ときめき水都市 武丈店・新居浜店 ～JA西条～

9

2012・September



▶昭和時代からの産地・城南地区の荏原選果場。3月～1月まで、「伊予なす」がほぼ年間出荷されている



「伊予なす」の出荷

(JAえひめ中央)



夏場の食卓に欠かせない「伊予なす」は、濃黒紫色のハリとツヤ、きめの細かい肉質が特徴で、幅広い調理が可能。な「筑陽なす」という長なす系の品種です。JA全農えひめと県内JAは、「伊予なす」の名称で出荷し、販売拡大に取り組んでいます（24年度栽培面積16ha、出荷計画1、170t）。

約9haで約820tの出荷を見込む県内最大産地・JAえひめ中央管内では、7月～9月中旬まで出荷最盛期を迎えており、荏原選果場では朝早くから伊予なすが持ち込まれ、パートさん総出で出荷作業に追われています。

なすの県内生産量はベテラン農家のリタイアなどで減少傾向ですが、JAえひめ中央は新規栽培者を毎年10名程度増やして現状維持に努め、新しい食べ方の提案や生産者自らの店頭試食宣伝活動、行政との連携など、生産者・部会・JAが協力し、真面目な伊予なすづくりで、産地維持と販売促進につなげています。

昨年、一昨年は台風や猛暑など天候不順により反収量が落ち込みました。気象条件が収穫量や秀品率に大きく影響するなす栽培だけに、農家にとっては安定出荷に向けて、まだまだ気の抜けない日々が続きます。

めぐり〜ど

September 2012

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



その年の収穫を神さまに感謝し、秋の味覚をお供え、美しい月の観賞会。まあるいお月さまなら尚良し、雲の間の見え隠れも、雨降りではの明るいの、また風流とか。子どもたちはどんな状況でも月見団子をほおばれば幸せ笑顔で、それもまた良し？ 今年の十五夜は9月30日（日）。ススキを飾ってプチ観月祭はいかがですか？ 勿論、団子は必須かな？!

●表紙：お月見
はら ふみ(イラストレーター)

※「めぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.141

伊予なすの出荷 (JAえひめ中央)

2

〈特集〉

2012「愛媛みかん大使」を任命しました。

これから2012愛媛みかん大使 が愛媛産柑橘をPRしていきます

5

THE・ねっとわーく

8

ふるさと ESSAY VOL.209

私と農業

小山田 憲正さん

10

TOPIC NEWS

15

なんでもBOX

16

えひめの食番組紹介&TAC活動報告

17

統計BOX

18

JAふるさと自慢Vol.141「直売所めぐり」

ときめき水都市

武文店・新居浜店~JA西条~

20

READERS通信

NOW NOW COOKING〈今月の素材〉温泉たまご

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>
 ※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料
<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)
<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ja-fresh/>

◆(株)ひめライス
<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

これから2012愛媛みかん大使が 愛媛産柑橘をPRしていきます。

J A全農えひめ青果販売課は、8月23日、愛媛産のみかん・伊予柑など柑橘類の消費宣伝・PR活動を行う「2012愛媛みかん大使」4人を任命しました。

みかん大使による活動は、昭和34年度から、一般公募は昭和62年度から実施しています。54代目の「愛媛みかん大使」4人は、これから1年間産地を代表し農家の想いを込めながら、各種イベントや販促活動を通じて、全国の皆さんに愛媛が誇る柑橘類をPRしていきます。

農家の想いを伝えながら
消費宣伝に取り組みます

J A全農えひめ青果販売課は、8月23日、松山市のJ A愛媛で、愛媛みかん・伊予柑など愛媛産かんきつをPRする「2012愛媛みかん大使」4人を任命しました。

2012愛媛みかん大使は、①清

水里奈さん（24歳・八幡浜市在住・団体職員）、②坂本はなさん（19歳・松山市在住・大学生）、③村上侑加さん（24歳・松前町在住・団体職員）、④秦まどかさん（21歳・松山市在住・大学生）。

任命式では、J A全農えひめ運営委員会の岡本健治会長が、それぞれに任命状と賞金20万円の目録を手渡し、「愛媛みかんの消費拡大に向け

て1年間頑張ってください」と激励。任期を終えた前年の大使からタスキを受け継いだ4人は、「全国の消費者に農家の皆さんの想いを伝えながら、愛媛みかんを食べていただけるようしっかりPRしたい」などと、報道カメラを前に緊張しながら力強く意気込み・抱負を話していました。

2012 愛媛みかん大使任命式



▲2012愛媛みかん大使の皆さん(右から=清水さん、坂本さん、諏訪県本部長、岡本会長、村上さん、秦さん)

54代目の「みかん大使」です！

みかん大使による活動は、昭和34年度から始めており54回目、一般公募は昭和62年度から実施し26回目となります。

今年も、6月11日から7月19日までの募集期間中、男性2人を含む92人の応募があり、書類審査を通過した17人が面接審査に進出。岡本会長を審査委員長に、JA全農えひめ・愛媛県果樹研究同委員会・愛媛県女性果樹同委員会、マスコミ関係者ら審査員15人が、「印象(好感度)」「知性」「容姿(姿勢等)」などを総合的に審査し4人を決定しました。



▲前年の大使からタスキを受け継ぎました

4人は、9月に接客サービスや柑橘産地の知識など基礎研修を受け、10月16日に開かれる愛媛県園芸大会で県内の生産者・JA関係者にお披露目します。

11月上旬からは、東京・大阪で「愛媛みかん消費拡大キャンペーン」、来年1月からは「愛媛いよかん大使」として、1月下旬から札幌・首都圏・京阪神を回る「愛媛いよかん全国縦断キャンペーン」のほか、「オレンジデー・オレンジロード関連イベント」など、来年8月末まで、各種イベントや販促活動、テレビ出演等を通じて愛媛産柑橘をPRしていきます。



2012愛媛みかん大使4人のプロフィール・抱負



しみず りな
清水 里奈さん (八幡浜市在住・団体職員)

愛媛みかんの美味しさを支える生産者の情熱を、ひとりでも多くの方に伝えられるみかん大使を目指します。今後、愛媛みかんは全国にとどまらず世界中から需要が増えることを期待し、柑橘全般の知識、マナー等の自己啓発にも努めます。短い任期ですが精一杯頑張ります。

【趣味】 バレー・テニス・温泉 【特技】 他己紹介



さかもと
坂本 はなさん (松山市在住・大学生)

歴史ある愛媛みかん大使に選ばれ、大きな喜びを感じています。これから、様々な知識を得て、生産者の皆様が一生懸命作ったみかんを、全国にPRして参りたいと思います。

少しでも多くの方々に愛媛みかんを知って頂き、より多くの方に笑顔になってもらえるよう、私たちにできることを頑張っていきたいと思っています。

【趣味】 手話・スポーツ
【特技】 サッカー・卓球・軟式テニス、パソコンのキーボード入力



むらかみ ゆうか
村上 侑加さん (松前町在住・団体職員)

愛媛県でも、特に歴史と伝統のある「みかん大使」に任命され、大変嬉しく光栄に思っていますが、同時にその職責の重さを改めて感じ、身の引き締まる思いで一杯です。農家の皆様方が丹精込めて生産された、「愛媛みかん」の魅力を多くの方に知っていただき、全国各地の食卓に、愛媛みかんが並ぶ光景を願って、これから精一杯頑張りたいと思います。

【趣味】 旅行・美味しいものを食べること 【特技】 バasketボール



はた
秦 まどかさん (松山市在住・大学生)

愛媛のみかんについてしっかり学び、農家の方々のお気持ちやみかんの美味しさをお伝えしていきます。1人でも多くの方に愛媛のみかんファンになっていただけるよう、これから大使4人で力を合わせて頑張ります。

【趣味】 バasketボール、子どもの世話をすること
【特技】 料理、人とすぐに仲良くなれること

THE ねとどわーく

「県内産米の消費拡大に向けて
新米キャンペーン実施中！」

（株）ひめライス

31日まで、道後大和屋本店ペア宿泊券などが抽選で合計1,000人に当たる「ひめライス新米キャンペーン」

（株）ひめライスは、県内産を中心に新米の発売をアピールしようと、8月27日から10月

「ねとどわーく」を実施しています。より多くの消費者に「愛媛の新米」を味わっていただき、県内産米の消費拡大と、「ひめライス」ブランド力の強化を図ります。

【キャンペーン名称】

「ひめライスの新米を食べて愛媛

えひめの新米 穫れました。

ひめライスの新米を食べて愛媛ブランドを当てよう!

※キャンペーン期間 平成24年8月27日(月)～10月31日(木)

※1000名様に当たる!

10コース 40コース 60コース 100コース

大和屋本店 ペア宿泊券
今治タオル「雲ごこちタオル」セット
伊予牛「絹の味」すき焼き用コース
おこめギフト券 (お米引き換え価格2200円)

Wチャンス
さらにはずれた方の中から抽選で790名様にプレゼント!

無洗米あらうまい! 愛媛県産 コシヒカリ(2kg)

ブランドを当てよう!

【実施期間】

平成24年8月27日～10月31日

【賞品】

▼Aコース⇨道後大和屋本店ペア宿泊券10組

▼Bコース⇨今治タオル「雲ごこちタオル」セット40名

▼Cコース⇨伊予牛「絹の味」すき焼き用コース(約600g) 60名

▼Dコース⇨おこめギフト券(お米引き換え価格2,200円) 100名

【Wチャンス】

A・Dコースの抽選ではずれた方の中から抽選で790名にはWチャンスとして、無洗米「あらうまい愛媛県産コシヒカリ2kg」をプレゼントします。

【応募方法】

(1) 「ひめライス」の米袋に付いている「ひめマーク」を切り取り、

Aコースは10kg分以上(もち米1・4kgなら5枚)、Bコースは5kg分以上(もち米1・4kgなら2枚)を、C・Dコースは2kg分以上(もち米1・4kgなら1枚)を

1口として、応募ハガキ(リーフレット)または官製ハガキに貼付の上、①ご希望の賞品コース(4

つの内1つを選択)、②郵便番号、

③住所、④電話番号、⑤氏名、⑥

年齢、⑦購入店、⑧ひめライスに

対するご意見・ご感想を記入の上、

ご応募ください。

一人でも何口でも応募できます

が、応募は1通につき1口とさせていただきます。

(2) 応募先

〒791-3163

伊予郡松前町大字徳丸字五屋敷

771-25

(3) ひめライス新米キャンペーン係

応募締切り

10月31日(消印有効)

(4) 抽選・当選発表

11月中旬に抽選を行い、当選は、

賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

なお、昨年に続き今回のキャン

ペーンでは、応募ハガキ1枚につき10円を東日本大震災で被災され県内に避難された方の生活支援や現地の被災者等への支援経費にあてるため、「愛媛県えひめ愛顔(えがお)の助け合い基金」を通じて、(株)ひめ

ライスより寄付させていただきます。

※昨年は、21,161枚の応募集約ができました。

J A愛媛野菜生産者組織協議会が「えひめ野菜の販売促進活動展開中」

青果販売課

J A愛媛野菜生産者組織協議会は、夏秋野菜の出荷本番を迎え、京阪神地区と県内で消費

費宣伝活動を積極的に実施するほか、販売対策会議等開催し、えひめ野菜の販売促進に取り組んでいます。

消費拡大会議と販売対策会議

7月12～13日の2日間、協議会の役員とJ A販売担当部長で構成する企画委員会のメンバーなど10人が、大阪本場に出向き、「消費拡大会議」を開きました。

会議では、京阪神地区の市場関係者と夏秋野菜の産地情勢や市場の販売情勢を相互に報告し、今後の販売促進対策などについて意見交換しました。また、県内外のトマト・きゅうりを集め品質査定会を開催したほか、大阪府豊中市の豊南市場では「愛媛フェア」の視察、店の代表者と意見・情報交換を実施し、消費地の動向・情勢の分析と把握を行いました。8月8日には、各産地出荷最盛期を迎える中、猛暑が続き客足・消費に

も影響が出て野菜相場が低迷する状況を打開するため、大阪本場で「夏秋野菜緊急対策会議」を開催。J Aと市場の担当者が情勢と今後の動向を分析し、相場の維持と出荷対策について協議しました。

県内外で生産者参加型やコラボ企画による販売促進活動を展開

消費宣伝活動は、7月に京阪神地区でのべ19店舗、県内1店舗、8月には京阪神地区のべ30店舗、県内



のべ13店舗で、「えひめ野菜フェア」として店頭試食宣伝を行い、販売促進・消費拡大とPR、売り場確保に努めました。さらに、9月初旬には県内外のべ50の店舗でフェアを実施する計画です。

特に、「作った人の顔が見える」生産者参加による対面型の販促は、生産者提供のレシピも含め購入者や協力店からも好評で、今後も産地J A・生産者に参加型の消費宣伝活動呼びかけることにしています。

また、キューピー・ダイシヨーといった調味料メーカーとコラボによる店頭試食宣伝を実施しました。ピーマンは、他県産地の面積拡大



による競争激化を見据えて、今年初めてキューピーとのコラボ企画で、愛媛産ピーマンの出荷袋に「レンジでかたん！ダブルピーマンの豚肉巻きサラダ」のレシピをカラー印刷し、購入者への新たな食べ方提案で需要喚起に努めました。キューピーの「すりおろしオニオンドレッシング」を使ったサラダ感覚で食べるメニューは、ピーマン炒め物というイメージを一新し、その上電子レンジを活用した簡単レシピで、店頭試食宣伝でも活用しながら愛媛産ピーマンをアピールしました。



レンジでかたん！ ダブルピーマンの豚肉巻きサラダ	
材料(2人分)	
ピーマン	4個
黄ピーマン	1個
豚ロース肉(薄切り)	8枚
ブチトマト	2個
キューピーすりおろしオニオンドレッシング	適量
作り方	
1	ピーマンと黄ピーマンは縦半分に切る。豚ロース肉を広げて、ピーマンと黄ピーマンをのせて巻く。豚肉は2等分する。
2	豚肉を軽く焼いた後、クッキングペーパーを敷いたフライパンに、その上にも豚肉のクッキングペーパーを敷き、豚肉をのせて、レンジ(500W)で約5分加熱する。
3	2のクッキングペーパーを全て取り除いた後、再度加熱し、4等分の小皿に盛り、ブチトマトを飾り、ドレッシングをかける。

▲キューピーとコラボ企画で作成したピーマン袋

▲ピーマン袋の裏にはレシピを紹介

「のんで!のぞいて!旬のみかんを搾った ジュースプレゼントキャンペーン実施中」

（株）えひめ飲料

（株）えひめ飲料は、12月31日まで、「のんで!のぞいて!旬のみかんを搾ったジュースプレゼント」キャンペーンを実施しています。

『ポンジュース』は、昭和44年、全国に先駆けて「天然果汁100%ジュース」として発売以来、ずっと、まじめにこだわり続け、多くの方々

に愛されるロングセラー商品です。

今回のキャンペーンでは、『ポンジュース』を飲んで、ラッキーウィンドウに「アタリ」が出た方全員（5,000人）に、旬のみかんを搾った「POM愛媛みかん旬ストレート100」をプレゼントします。

「アタリ」が出た方の応募期間は12月31日までとなっていますが、キャンペーンは対象商品がなくなり

次第終了となりますので、早めにお買い求めください。

◆キャンペーン内容

【対象商品】

○キャンペーン告知ラベルが貼付されている『ポンジュース』（1ℓペット、500mlペット）。

【賞品】

ラッキーウィンドウをのぞいて「アタリ」（合計5,000本）が出たら、もれなく「POM愛媛みかん旬ストレート100」（1ℓペット6本入り）をプレゼントします。

【応募方法】

(1) 「アタリ」のマークを点線部分で切り取り、郵便ハガキか応募ハガキ（ホームページからダウンロードできます）にテープなどでしっかり貼って、①郵便番号、②住所、③氏名（ふりがな）、④年齢、⑤性別、⑥電話番号、⑦メールアドレス、⑧購入店舗を明記の上、プレゼント係宛にお送り下さい。

(2) 応募先

〒790-8799

愛媛県松山中央郵便局留

「ポンジュースキャンペーン」係

(3) キャンペーン期間

キャンペーン対象商品が無くな

り次第、終了します。

(4) 応募締切り
平成24年12月31日（当日消印有効）

(5) 賞品の発送

旬の愛媛みかんが原料のため、賞品は、12月下旬以降からの発送予定です。

キャンペーンの詳細は、（株）えひめ飲料のホームページ、またはポンジュースキャンペーン事務局（TEL 089-923-1529、平日10時～17時）まで、お問い合わせください。

◆（株）えひめ飲料ホームページ

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

（株）えひめ飲料のホームページでは、キャンペーン情報のほか、キャンペーン応募ハガキのダウンロードができます。

また、新商品情報、ネットショッピングなどPOMジュース情報が満載です。

応募期間 2012 12/31 まで

のんで! のぞいて!

旬のみかんを搾ったジュース
プレゼント!

対象商品は
162品!

総計 5,000名様に
プレゼント!

アタリが出たら
5,000名様に当たる!!
POM 愛媛みかん 旬ストレート100
(1ℓペットボトル/6本入)

（株）えひめ飲料



私と農業

一昨年から長年の憧れだった農業を始めました。農家として認められるからはほぼ毎日、お寺を飛び出し（抜け出し?）、お寺で修行をしている人達と一緒に畑で汗を流す日々を送っています。現在では今治市玉川町内数か所にある約2町の田畑に、米や野菜を有機無農薬で栽培しています。

今よりずーっと若い頃から、「将来は土いじりをやりたいなあ」と漠然と思っていました。山中で田畑を耕すなんて、まるで隠遁した仙人の生活のようで素敵じゃありませんか。（私がお勤めをしているお寺は、仙人が修行をした、という山にありますから尚更です）俗世とは離れたお山の上で達観した仙人のような毎日、つまりは、晴耕雨読に憧れがあったのです。

ところがお寺というのは案外気忙しく、なかなかそのチャンスがありませんでした。バタバタと走り続けてきましたが、還暦を過ぎようやく昔に比べて少しゆっくりにできるようになりました。これこそチャンスと農地を手

に入れ、やっと年来の憧れが叶ったと思ったのも束の間、最初に手に入れた農地は耕作を放棄された荒地地だったのです。なんとか田んぼとして復活させたい、との思いで必死でした。昔あった憧れも、自分の抱く「農への思い」も、なーんにも考える暇なくひたすら汗を流してきました。

そんな時、東日本大震災が発生しました。突然襲った自然災害は、私の足を一度止まらせました。これを機に自然環境の大切さが殊に言われるようになり、私もなぜ自分が農業に目を向けたのか、ただ単に興味があったからなのか、もう一度振り返りたくになりました。

ある視察旅行で世界遺産になっている中国雲南省の棚田を見に行ったことがあります。日本の農業の原点と言われている所です。2,000mの高山から麓に至るまで、見渡す限り何万もの小さな田んぼが段々になって続いていました。数千年の昔から始められた開墾は、いまなお現在も続い

小山田 憲正

OYAMADA KENSHO

昭和25年生まれ、愛知県名古屋出身。高野山大学文学部西洋哲学科卒。四国霊場第五十八番札所仙遊寺住職（高野山真言宗）。「四国へんろ道文化」世界遺産化の会 代表世話人。地域づくり研究会「源流」会長。空手教室「創心舎道場」指導者、空手五段。他、民生委員や保護司など、役職多数。平成元年、仙遊寺住職に就任後、「共生」の文化である四国遍路道文化の理解普及に力を注ぐ。修行の場として寺を開放、ひきこもり不登校、悩める者と寝食を共にし、お互いを思いやる遍路文化を実践している。最近はおもった畑仕事に熱中、毎日朝から晩まで土いじりに精を出している。
◆仙遊寺 TEL 0898-55-2141 / 今治市玉川町別所甲483 / 宿坊は60名収容、浴場は温泉。バス・トイレ付個室あり。精進料理のみ可（要予約）。



▲荒地から開墾した棚田

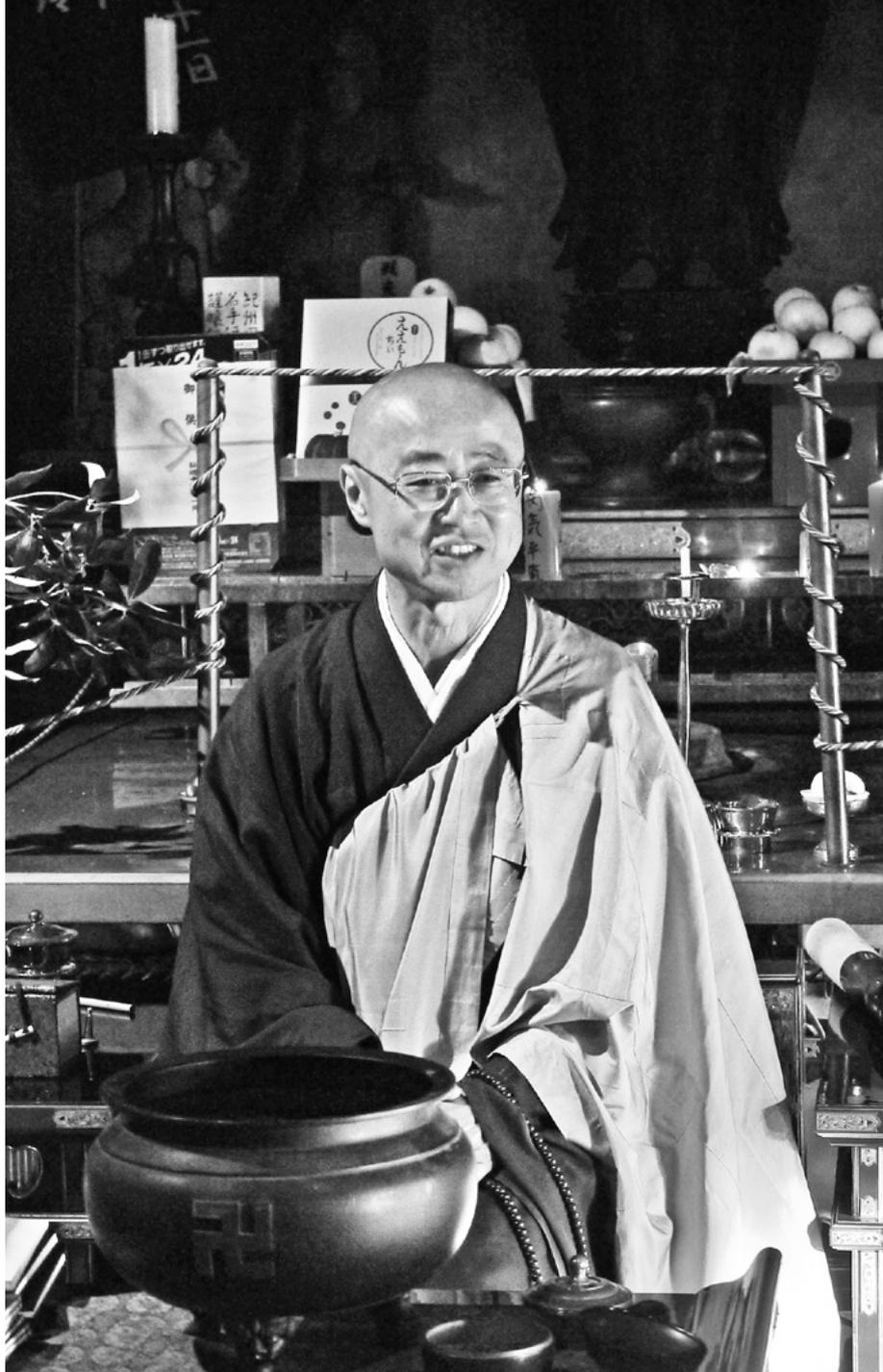
ています。家々の周りにはもちろんのこ
と、道の横の小さな空き地も野菜が植
わっていました。山頂近くまで耕作し
ている為か、ほんの僅かな水を常に棚
田に溜めなくてはならず、不足分は地
下水でまかなっているそうです。

です。そんな厳しい環境の中で小さな
土地も大切に耕して自然の恵みを受
け取る、そのような姿勢に心打たれま
した。農業とは「自然の恵みを一身に
受けて「生きよう」とする姿勢」のこ
となのかもしれない、と感じました。

以来、私は農業を通じて「自然と共
に生きる」ことを再確認したいのだ、
とはっきり自覚するようになりました。
ひたすら汗を流し作物を育て、そ
の収穫を頂き、また元気に働くこと
ができる。命は循環しているのだ、人
間も自然の一部なのだと思います。自然
という大きな存在に抱かれている安
心感は、他で得られることができない
感情でしょう。ただ裏を返せば、人間
も自然の前ではちっぽけな存在でし
かないということ。小さな自分
という謙虚さは、現代社会が忘れ去っ
てしまったものではないでしょうか。

と再び気付かせてくれるのです。

ところが、農業とは綺麗事だけでは
通らないもの。次回は山奥で田畑を
耕す際、必ず経験するであろう野生動
物との奮闘記をお届けします。合掌



●平成24年度愛媛県畜産振興連絡協議会総会 畜種を超えて展望の持てる畜産の実現を！

愛媛県畜産振興連絡協議会は、8月7日、松山市のJ A愛媛で平成24年度総会を開き、24年度事業計画と新役員体制を決めました。

同協議会は、肉牛・酪農・養豚・採卵養鶏の生産者団体が、畜種の枠を超えて畜産の振興に必要な調査や関係機関等との連絡・協議、陳情・要請活動などを行っています。

24年度の事業方針として、将来の畜産業に希望が持てる体制の構築と愛媛県の生産振興への寄与、安全・安心な畜産物の安定供給、地域社会と調和の取れた畜産経営、所得経営安定対策への参加促進に取り組むことを確認。また、TPP交渉参加に反対し、国産畜産物が不利益にならないような新たな農産物貿易ルールの確立に向け、関係団体と連携して積極的に取り組むこととしました。

事業活動では、消費者に県産畜産物の安全性アピールとブランド推進活動、「畜産振興議員連盟」との意見交換会、各畜種の抱えている課題

の検討や交流会を開催することとしています。

新役員体制は次のとおりです（敬称略・カッコ内は所属）。

【会長】竹内日出男（J A愛媛養豚経営者協議会）【副会長】岡崎哲（愛媛県肉牛生産者協議会）、山本英司（愛媛県酪農経営者協議会）、藤原政夫（愛媛県採卵養鶏経営者協議会）

【監事】伊賀上恒英（J A愛媛中央会）、大本健路（愛媛県畜産協会）



松山市駅前で、県内産牛肉・豚肉の消費拡大をアピール！

J A愛媛養豚経営者協議会は、8月1日、松山市駅前で愛媛県産豚肉ブランド『ふれ愛・媛ポーク』のグッズ（うちわ・ティッシュ）を配布しながら、通行する方々に豚肉の消費拡大を呼びかけました。

この街頭宣伝活動には、J A愛媛養豚経営者協議会役員のほか、J A全農えひめと関連会社の担当者約15人が参加。

飼料価格の高止まり、豚価と消費の低迷で畜産農家の経営は厳しい状況が続くなか、生産農家とJ A関係者が一体となって、消費者に「愛媛の豚肉をもっと食べて」と直接アピールしました。

また、8月7日には、J Aの畜産担当部課長とJ A全農えひめ職員約15人が、松山市駅前



伊予牛「絹の味」と「ふれ愛・媛ポーク」の販促グッズを配布しながら、消費拡大を呼びかけました。

●第13回JA愛媛米麦生産者組織協議会通常総会 高橋征三会長はじめ新役員を選任！

JA愛媛米麦生産者組織協議会は、8月2日、JA愛媛別館で第13回通常総会を開き、24年度事業計画と高橋征三会長（JA新居浜市・新任）をはじめ新役員体制を決めるとともに、TPP交渉参加阻止に向けた特別決議を採択しました。

水稲では、「土づくり」「疎植・小株栽培」「肥培管理」「水管理」等高温対策も含めた稲作改善により、1等米比率70%以上を目標に品質向上に取り組みます。また、高温耐性品種や多収性品種など需要に即した新品種の検討や、鉄コーティング湛水直播など新技術、生産コスト低減・省力化に取り組みます。

麦は、実需者の要望に応えるため、はだか麦1,700ha、小麦200haを目標に作付振興を図るとともに、高品質麦の安定供給に向け「ハルヒメボシ（四国裸110号）」「ユメサキボシ」の新品種栽培試験や湿害対策の徹底に取り組みます。大豆においても実需者ニーズを踏まえた安定生産を進めていきます。

総会後は、JA愛媛中央会農政営農部の黒河安德次長を講師に、「TPP参加が日本農業に及

ぼす影響について」と題した記念講演がありました。

平成24～25年度の役員体制は次のとおりです（敬称略・カッコ内はJA名）。

▽会長＝高橋征三（新居浜市・新任）▽副会長＝玉井良幸（えひめ中央・新任）、蔭平忠（えひめ南・新任）▽監事＝砂田虎春（今治立花・新任）、菊池茂（愛媛たいき・新任）



▲あいさつする高橋新会長

●第23回JA愛媛畜産技術者連絡協議会総会 営農・経営・生産技術指導力の強化に取り組む

JA愛媛畜産技術者連絡協議会（11JA・30会員）は、7月27日、第23回総会を開き、平成24年度の事業計画を決めました。

畜産業界は、口蹄疫の傷跡も癒えないまま昨年の東日本大震災によるダメージを引きずっており、景気の低迷、飼料価格の高止まりなど畜産農家の経営は非常に厳しいものがあります。また、家畜伝染予防法の改正により、生産農家の衛生対策の重要性が増す中、生レバー事件など食の安全の関心も高まっており、生産者の顔の見える安全・安心な畜産物の安定供給と衛生対策、経営面での総合的な農家指導の実施が重要となっています。

こうした中、24年度は、愛媛の畜産振興と銘柄化を促進するため、消費者との連携・合意形成づくりを進めるとともに、販売・流通体制の

強化、防疫管理と記帳管理の徹底の指導、後継者の育成に取り組みます。活動具体策として、営農指導力・経営指導力・生産技術指導力の強化、販売流通体制の強化に取り組むことを確認しました。



●平成23～24年産いちご・メロン出荷反省会 いちご・メロンともkg単価は前年上回る

J A 愛媛野菜生産者組織協議会と J A 全農えひめ青果販売課は、7月26日、松山市の J A 愛媛別館で、平成23～24年産いちご・メロン出荷反省会・生産対策会議を開きました。

いちごは、昨年11月から九州産地を中心に前年の2倍超の潤沢な入荷があり厳しいスタートとなりましたが、12月のクリスマス前にはピークが過ぎ、以降は天候不良・冷え込みの影響により年末から3月までは入荷減で、競合品目も少なかったことからスムーズな販売となりました。3月下旬から4月上旬にかけては高値疲れ等もあり下げ基調で推移しましたが、4月下旬意向は各産地の入荷も減少し、輸入の出回りも少なく堅調な販売で終了。23～24年産のいちご販売実績は、出荷数量が990 t（前年比80％・計画比85％）、kg単価916円（前年比110％）でした。

次年度に向けて、計画安定出荷体制の確立、大玉果等規格外品も含めた企画販売取り扱いの拡充や加工・業務用販売先の検討、目揃え会等

を通じた品質向上・他県産との競争力アップが課題としてあげられています。

メロンは、九州産地が低温・曇天の影響で出荷遅れと小玉化により出荷数量が少なく、4～5月は堅調な販売となりましたが、6月に入り各産地とも増量傾向となり厳しい販売となりました。

24年産のメロン販売実績は、出荷数量32.4 t（前年比102％）、kg単価367円（前年比104％）でした。



●今治西高校野球部にジュース贈呈 (株)えひめ飲料は球児を応援しています

(株)えひめ飲料は、第94回全国高校野球選手権大会に愛媛県代表として出場した県立今治西高校野球部に、「ポンジュース」と「POM塩と夏みかん」(各500ml24本入り)をそれぞれ5ケース、計10ケース(240本)差し入れました。

8月6日、同社の菊池昭彦大阪営業所長が、神戸市の同校宿舎を訪ね、主将の池内君と副主将の笠崎君に「ポンジュースを飲んで頑張ってください」とジュースを手渡し激励。2人は「郷土を代表して頑張ります」と健闘を誓っていました。

同社では、夏と春の甲子園に出場する愛媛県代表校に、毎回ポンジュースを贈り、球児たちを応援しています。



▲ポンジュースを手渡す菊池所長(左)
主将の池内君(右から2人目)と笠崎君(右)

●JA愛媛耐久消費財拡大協議会第32回通常総会 環境関連機器の取り扱いを強化します。

JA愛媛耐久消費財拡大協議会は、7月9日、JA愛媛で第32回通常総会を開き、平成24年度の活動計画を決めました。

24年度活動計画では、太陽光発電システム推進・省エネをテーマとした環境関連機器の取り扱いを強化し、組織的提案活動を展開します。

また、県下500台の納品実績がある冷凍ストッカーの買換え促進に取り組み、組合員に自家製野菜の有効活用と食生活の改善提案を行うとともに、情報収集体制の整備、組合員ニーズに対応的確な提案活動を行うために教育・研修活動を実施します。



●果樹同志会24年度柑橘部会 優良園地の視察やオリジナル品種の栽培技術等を学ぶ

愛媛県果樹研究同志会と愛媛県女性果樹同志会は、8月10日、JAおちいまばり管内で平成24年度柑橘部会を開催しました。

同部会では、別府英治さんの基盤整備園と23年度えひめみかん祭りほ場コンクールで農林水産大臣賞を受賞した近藤勇さんの施設紅まどんな園を視察。園地の概要や今年の生育状況などについて説明を受けました。

午後からは、JAおちいまばり「さいさいきて屋」で研修会を実施しました。

JA全農えひめ青果販売課がかんきつ類の生産・販売状況について報告をしたあと、果樹研究センターの藤原文孝主任研究員が「オリジナル品種の栽培技術について」と題し、紅まどんな・甘平・媛小春の高品質・安定生産技術のポイントを解説しました。

また、会場となった「さいさいきて屋」の開



発の経緯や事業概要、今後の展望などについて、JAおちいまばり直販開発室の西坂文秀室長の講演がありました。

●イオン従業員が収穫体験

自信を持って「私たちが収穫したミニトマト」販売

イオンリテール(株)四国カンパニーの高橋光治バイヤーとイオンの従業員計12人が、8月2日、松山市中西外の日高義久さんのハウスを訪れ、ミニトマトの収穫とバック詰めを行いました。商品は翌日から、イオン松山店など県内のイオン3店舗で「私たちが収穫したミニトマトです!!イオンクラブ収穫体験のトマト販売中!!」という収穫写真入りのPOPを掲示し販売されました。

イオンでは、年数回、従業員自らが産地を訪ね、農産物を収穫し、自信を持って販売する取り組みを行っており、昨年が続いて日高さんのハウスでミニトマトが収穫されました。

参加者は、日高さんから、「熟している実をヘタがとれないよう収穫してください」とアドバイスを受け、赤く熟したミニトマトを丁寧に収穫。収穫の大変さを体感しながらも、さっそく試食した方は、「完熟のミニトマトの味は格別」「甘い」と美味しさを再認識していました。日高さんは、季節・気温によって生育が大きく変わる点など、安定生産・出荷が難しくなかなか要望に応えられない状況を説明し、販売店の理解を求めています。

J A全農えひめ直販課では、「日高さんちのミニトマト」ブランドで、コープえひめ、同店やフジなど県内量販店に供給し、生産者の顔が見える販売に取り組んでいます。



●いよっこら「我が家の自慢カレーコンテスト」

家族でカレーづくり&カレーパーティーを楽しむ

J Aえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケット「いよっこら」は、8月5日、伊予市の生涯学習センターさざなみ館で、「我家の自慢カレーライスコンテスト」を開きました。

同コンテストは、地元野菜の魅力をもっと理解してもらおうと、同店が親子を対象に実施している料理教室の一環として開いたもの。各家庭でいつも食べているカレーライスを披露してもらうという今回の企画には、7家族19人が参加。当日の朝、「いよっこら」で購入した肉や野菜などを使って、家族が協力してオリジナルカレーづくりに挑戦しました。

子どもたちは、「しみる～」と涙を流しながらタマネギの皮を剥いたり、野菜・肉のカットなどに悪戦苦闘しながら、日ごろあまり経験のないカレーづくりを楽しんでいました。

できあがったカレーは、「いよっこらキッズ夏カレー2012」など各家族が思い思いにネーミングし、保護者がこだわった点や美味しく作る

コツを披露。参加者と「いよっこら」運営協会の役員らが7種類のカレーを食べ比べて、好みのカレー3品を投票し各賞を決めました。

参加者は、「カレーパーティーのよう」「参考になった」「子どもはカレーにすると野菜を食べてくれる」「子どもはカレー嫌いだが、今日は自分が作ったので食べてくれた」など、うれしそうに感想を話していました。



なんでもBOX

●「第10回全国和牛能力共進会」愛媛県最終審査

愛媛県代表の種牛1頭と肉牛2頭が決まる！

「第10回全国和牛能力共進会」（主催：全国和牛登録協会）への愛媛県代表牛を決める最終予選会が8月2日～3日の2日間開かれ、雄牛・雌牛の和牛改良の成果を競う「種牛の部」で1頭、肉質を競う「肉牛の部」で2頭、計3頭の代表牛が決まりました。

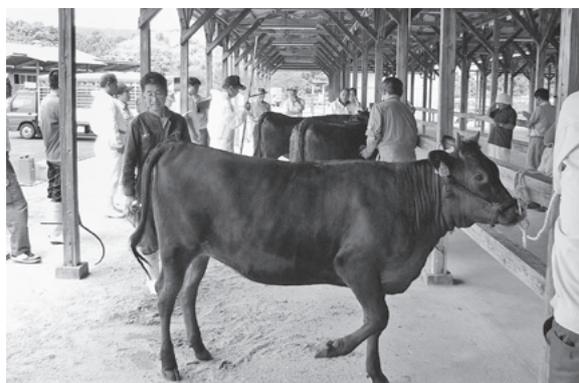
この共進会は、各道府県から選抜された優秀な和牛が5年に一度、一堂に会してその優劣を競うもので、「和牛のオリンピック」とも称され、審査結果が各県のブランド化に大きく影響するだけに、和牛関係者にとってはまさに威信をかけた大会で、今年は長崎県で10月25日～29日に開催されます。全国から出品される484頭の中から、それぞれの部で日本一の和牛が決まることになっています。

種牛の部（第2区〈14～17か月未満の若雌〉）では、最終審査に残った候補牛3頭の中から、発育性、均称・体積・品位などを総合評価し、高橋義信さん（JAひがしうわ）出品の名号「みく」が選ばれました。

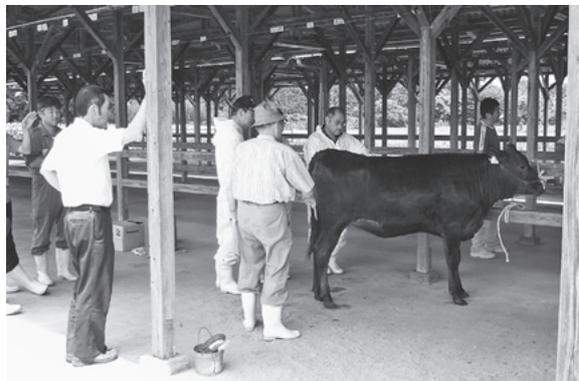
肉牛の部（第9区〈生後24か月未満の去勢肥育牛〉）では、最終審査に残った10頭の中から、日齢に応じた体重・発育性・肥育度、資質や均称・脂肪の付着・肉量など外貌審査とあわせて、育種価などを総合的に評価。JA愛媛たいき畜産センター出品の名号「茂福栄」と高橋節雄さ

ん（JA周桑）出品の名号「三郎」の2頭が代表牛となりました。

10月23日には壮行会が開かれ、代表牛3頭は長崎県に出発することになっています。



▲県代表に選ばれた高橋義信さん出品の「みく」



JA西日本くみあい飼料(株)愛媛営業所が事務所移転 ～砥部町のJA全農えひめ生活センター2階へ

JA西日本くみあい飼料(株)四国支店愛媛営業所が、砥部町のJA全農えひめ生活センター2階に事務所を移転し、8月27日から業務を開始しました。

◆新事務所の住所

〒791-2192 愛媛県伊予郡砥部町拾町165番地
JA全農えひめ生活センター2階

◆新事務所連絡先

(電話番号) 089-961-4890
(FAX) 089-905-7851



まいにちが、ごちそう産

こたに しょうこの “旬” 発見! 愛ある産地におじゃましま〜す!

日曜日 12:50~12:55放送 ※毎月2・3回放送 もぎたてテレビのあと!

「えひめの食」企画の番組「えひめの食 こたに しょうこの“旬”発見!〜愛ある産地におじゃましま〜す!」が、南海放送で日曜日12時50分~12時55分、毎月2~3回放映されています。

9月16日(日)と9月23日(日)に「新米」をとりあげます。お楽しみに。

なお、番組放送分のバックナンバーは、JA全農えひめ「えひめの食」企画ホームページ⇒「えひめの食提供番組」から見ることができますので、ご確認ください。



▲TAC相互圃場研修(7月5日JAひがしうわかポチャ)

私は今年5月から、新任県域TACとして活動しています。この4か月間、愛媛県内のTACの皆さんの取り組みを見ていく中で、「出向く営農」の重要性を強く感じました。

担い手に対し、様々な視点から積極的にアプローチを行うためにも県内外での情報交換は必須です。

今年度は、6月に24年度第1回中四国ブロックTAC研究会を愛媛で開催し、県内TACが多数参加し他県先進地事例の情報共有を図りました。県内活動では、今年も3JAでTAC相互圃場研修会を開催し、現地圃場を訪ねてJA間で栽培方法、病害虫対策等の意見交換を図っています。

また、販売・資材・購買等の他部門・部署との連携を深めることも必要だと感じています。

このように、多方面からの情報収集を実現し、担い手に積極的に出向いていくTAC。愛媛県内TACが一体となり、産地振興を図っていくことがTAC活動の理想です。

!! TAC® 私たちが TAC です

県内のTACが一体となり産地振興を!

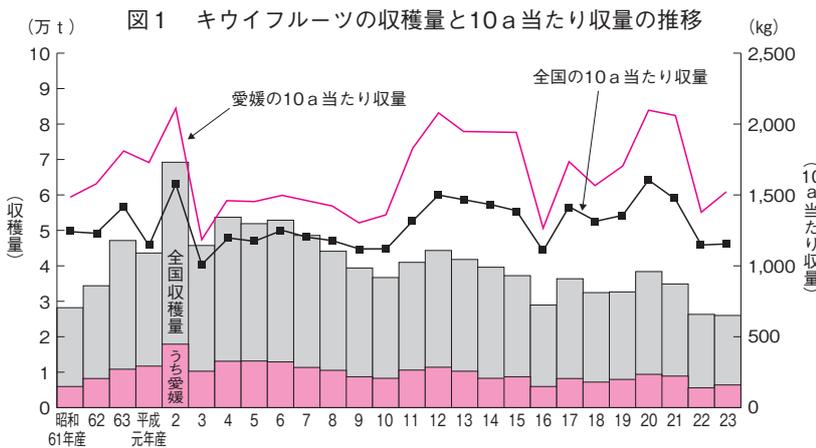


JA全農えひめ
営農振興課 県域TAC
藤井 駿弥

統計BOX

26年連続日本一！

— 平成23年産キウイフルーツの結果樹面積、収穫量及び出荷量調査結果(概数)の概要から —

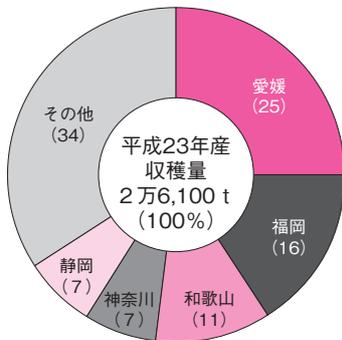


平成23年産キウイフルーツの結果樹面積は、全国が2,250 haで、

平成23年産 キウイフルーツの動向

調査が始まって以来26年、今年も愛媛のキウイフルーツは日本一になりました。そこで、今月はキウイフルーツの生産推移について見ていきたいと思います。

図2 キウイフルーツの都道府県別収穫量割合



都道府県別にみた収穫量割合は、愛媛県が25%、次いで福岡県が16%

愛媛県の収穫量は、 全国の約4分の1を占める

愛媛県における結果樹面積は429 haで、前年産に比べて7 ha (2%) 減少しました。また、3月下旬の凍霜害及び受粉不良の影響があった前年産に比べると、10a当たり収量が150 kg (11%) 増加し、520 kgとなりました(図1)。

前年産に比べわずかに減少しました。また、収穫量は全国で2万6,100 tとなり、前年産に比べて400 t (2%) とわずかに減少しました。

(4,130 t)、和歌山県が11% (2,930 t) となっており、上位3県で全国の約5割を占めています(図2)。

また、愛媛県のキウイフルーツは、調査を開始した昭和61年産以降、結果樹面積、収穫量ともに26年連続で日本一の産地としての座を守っています。

国民の健康の保持増進、生活の質の向上及び食料の安定供給の確保を図るため、平成12年3月、文部省(現文部科学省)、厚生省(現厚生労働省)及び農林水産省は「食生活指針」を策定しました。この中で、果物は、ビタミン、ミネラル、食物繊維を適量摂取するため野菜とともに「毎日とるような心がけましょう」と勧められています。さらに、この「食生活指針」を具体的な行動に結びつけるものとして、平成17年6月に厚生労働省と農林水産省は「食事バランスガイド」を決定し、果物の摂取の目安として1日およそ200g摂ることを勧められています。

これから秋の果物がおいしい時期。家族で旬の味を楽しみませんか。

中国四国農政局
松山地域センター 農政推進グループ



インフォメーション

ときめき水都市 武文店

- TEL/0897-53-2400
- 営/8:00~17:00
- 休/無休(地方祭と年始は除く)
- 住/西条市大町98
- URL/http://www.ja-saijyo.or.jp/

ときめき水都市武文店 ~JA西条~

水の都で産声をあげた野菜たちにときめいて



▲直売所と温泉と。カラダによくばりな充実した1日になりそう

ウソか、マコトか! 温泉つきの直売所?

「ときめき水都市武文店」は天然温泉「武文の湯」の隣にオープンして10年になります。周辺は農業地帯なので、本店から運ばれる商品以外に、直接持参される生産者も多く、畑との距離が近い新鮮な農産物があふれています。

平屋建て約150㎡の直売所は午前10時前のひと賑わいが特徴です。それというのも温泉開館前にお買いもの、買った商品はレジに預けて、入浴後にもう一度立ち寄り商品引き取り、買い忘れていればさらにお買いあげ...と、ほのぼののどかな雰囲気です。惣菜、漬物などの加工品も充実、年配の男性お一人様も気軽に立ち寄れる直売所です。



高橋 玄樹さん
(JA西条 直販店舗課 職員)

「西条産の野菜と赤いキウイと米粉がそれぞれドレッシングになりました。サラダにも肉料理にも相性抜群! 特に肉料理は、もりもり食がすすみますよ~。3つの味をお楽しみください!」



▲懐かしいお菓子、駄菓子も充実



▲お客様の要望は幅広い。手づくり木工品や生活用品、農作業用品コーナーもある



▲武文店の店内。生産者コードが記された青いコンテナが並び

イベントカレンダー

毎月26日 ミニイベント開催



【広域map】



【ピンポイントmap】



インフォメーション

ときめき水都市 新居浜店

- TEL/0897-36-1520
- 営/8:30~14:30
- 休/無休(地方祭と年始は除く)
- 住/新居浜市西の土居町2-12-28
- URL/http://www.ja-saijiyo.or.jp/

ときめき水都市新居浜店 ~JA西条~

肥沃な西条平野から採れたて一番、お届けします

そのパワーの源は西条産野菜!?

新居浜市にも西条産の朝どれ農作物直送の「ときめき水都市」があります。店舗面積112㎡、駐車スペース約15台に、農産物、惣菜類や加工品、精肉、鮮魚が並び、コンパクトなスペースながらも中身のギュッと詰まった凝縮店舗ですから、お客様も朝一番が勝負です。開店前、スタートダッシュのポジション取りからすでに買い物は始まり、開店と同時に猛ダッシュと朝の活気にあふれています。「新鮮でおいしくて安い」と口をそろえるお客様たちに支えられ、この地で15年目を迎えています。



▲にぎわう新居浜店、店内



▲リュックサックを背負って来店。手前のリュックに商品を入れて、「この後、趣味の砲丸投げに行ってきます」



▶今日もたくさん買っていただきました。朝一番にご来店のお客様

水がおいしいから味もおいしい

876名の生産者が出荷する「ときめき水都市」の農産物は石鎚山系の伏流水育ち、味の良さには定評があります。その代表は9月末まで並ぶ伝統野菜の「絹かわなす」。ぼつてり丸顔、皮までやわらか、適度な弾力のある果肉はフルーティ、欠点が見つけられないおいしさです。秋が深まれば、寒くなるほど甘みが増して味が濃く、肉厚なのにやわらかな露地ものホウレンソウが出てきます。鍋の時期にはきれいな白ネギ、クリスマス前には大粒イチゴ、新年の疲れた胃腸は「西条の七草」で整えましょう。愛媛のミカンはまだまだ奥が深いもの。希少な「だんみかん」は愛媛人をもつなららせるミカンです。



▲ラベルが目印。JA西条お墨付きの絹かわなす



▲標高の高い加茂地区の農産物はおいしいと定評がある。トマトも人気商品の一つ



◀色つやのいいホウレンソウと、年明けに必須の「西条の七草」



難波江 里美さん (ときめき水都市 スタッフ)

「JA西条オリジナル、『絹かわなす』が1本そのまま漬物になりました。あっさりとした食のすずみ逸品です」

店

商店街にも水都市が出現!

ときめき水都市新居浜喜光地店

商栄会 TEL0897-41-5420

昭和の香りが残る新居浜市喜光地にも「ときめき水都市」が開かれています。商店街の中ほど、コミュニティ広場のオープンスペースが会場です。毎日、朝9時から午前中のみの「朝市」販売。レトロな街並み散策や、買い物途中の休憩を兼ねて立ち寄ってみるのも楽しいですよ。

「ときめき水都市」は、コープえひめ新居浜の金子店と中萩店、コープ

えひめ今治店、コープえひめ喜田村 店内にもインショップを設けています。



▲吹き抜ける風が気持ちいい、喜光地店

イベントカレンダー



毎月第2金曜日 ミニイベント開催



【ピンポイントmap】



●7月号特集の県内で使われている段ボールのデザイン写真を見て、小学生の頃、家族での富士登山を思い出しました。バスで登れる最高位置の土産屋で、登山前の食事をとっていた時、母が棚の上にあった段ボールを指さしました。そこには、我が家でも使っていた「えひめみかん」の段ボールがあり、日本一の山で自分たちの身近なものに出会えたことに感動しました。

中の商品の状態を損なわず、お客さんのもとに届けるのが最たる目的ですが、使い勝手のよさから、道具入れとしても段ボールは重宝されます。愛媛ブランドの段ボール箱を手にした人が、誇らしく思ってくれるような段ボール・農産物をこれからも作り続けてほしいと思います。

(愛南町・忽那 豪さん)

●ねっとわーく「平成24肥料年度秋肥価格決定」を読んで。低成分肥料や低コスト配合肥料、国内未利用資源の活用などが紹介されていました。が、低コスト肥料の普及に早く取り組んでください。

統計BOXでは、みかんの品種転換が早いのではないかと思います。

(今治市・村上 瞳さん)

●直売所めぐりの記事は、「太陽市」に思わず足を運びたくなるような会場案内で、野菜・魚の新鮮さが読者にも伝わってくるようでした。

各JAの産直市で、新鮮でかつ安価な野菜の出荷の様子、またその市を客が必要とし、喜ばれている実態を取り上げてください。

(今治市・阿部 徳子さん)

●最盛期のオクラ畑で作業をしていた時、ウォーキング中の男性から、「これ何の花ですか?」と声をかけられびびりして振り向き、「オクラの花ですよ」と説明すると、男性が「僕は料理人なんだけど、オクラはこんな木からとれるとは知らなかった。いろいろな料理に使っているんですけど」と驚いていました。

「ウォーキング中なんだけど、きれいな黄色の花を見て、今日はこちらを歩いてみました」と汗をぬぐいながら、「美しい花とオクラの木を知る

ことができました。暑いから気をつけてお仕事してください」と言ってくださり、去っていきました。

私も改めて花を見て可愛いなあと思直しました。栄養満点のオクラちゃんありがとう。農作業もいいなあと思いました。

(西条市・近藤 明美さん)

●ふるさとESSAY「夢をかたちにするピンチはチャンス。チャンスはチャレンジ」を読んで。長く厳しいタイでの生活3か月、素晴らしい経験をされたと思います。

チャンスは逃がさない、必ず掴む。「やれば出来る」の精神に感動しました。私も少しでもそういう気持ちに近づけるよう頑張って仕事をやっていこうと思います。

(松山市・北原 阿貴延さん)

●山下由美さんは女性部でよくお会いし、お話し聞いたり一緒に研修を受けたりと、とても身近に感じています。

「夢をかたちにするピンチはチャンス。チャンスはチャレンジ」本当に実行なさって素晴らしいなと、また愛媛だけでなくタイにまで行動力があり拍手を送りたいです。これからはますます活躍を期待しています。

(西条市・白木 泰子さん)

●「ピンチはチャンス。チャンスはチャレンジ」非常に良い響きですね。

農業・農村を取り巻く環境は、ピンチといわれています。しかし、「チャンス」をつかむためにも「チャレンジ」をしてほしいものです。

特に若い農業者の方には、「チャレンジ」し「チャンス」をつかみ、「成功」することを期待しています。

(松前町・田中 克也さん)

●COOKING 今月の素材「大葉」の料理をさっそくおいしそだったので作りました。大変好評で、美味しくいただきました。いつも楽しみにしています。

(大洲市・矢野 薫さん)

今月のクイズ

JA全農えひめは、「2012愛媛みかん大使」を任命しました。今回任命された「みかん大使」は、何代目でしょうか?

「〇代目」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

平成24年10月18日(当日消印有効)

発表表

「あぐり〜ど」11月号で発表します。

当選者発表

7月号の答えは「全国で第3位」でした。たくさんのお便りありがとうございました。

厳正な抽選の結果、次の10の方に図書カード1,000円分をお送りします。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 松岡るり子さん (久万高原町) | 越智小代奈さん (西条市) |
| 森實 鈴香さん (今治市) | 川下いも子さん (四国中央市) |
| 伊賀ヒサ子さん (東温市) | 永井 朋代さん (松山市) |
| 白木 泰子さん (西条市) | 高橋千代美さん (西条市) |
| 野口むつみさん (松山市) | 松尾 紀子さん (西条市) |



編集後記

★ニュースで紹介した「いよっこらカレーコンテスト」では、各家庭で子どもに少しでも野菜を食べさせよう、野菜を細かく刻んだり、ご飯でなく「ナン」で食べさせたり…など様々な工夫が感じられました。「カレー嫌いの子どもが、自分で作ったことで食べてくれた」という声もありましたが、「収穫体験すると嫌いな野菜でも食べたい」という声をよく聞きます。メニュー提案・工夫とあわせて、食育・体験活動の重要性を改めて感じました。(正直)

今月の素材
温泉卵

(JAえひめフレッシュフーズ)



そのままおいしい、とろ〜り半熟
ひと手間加えて、さらにおいしい

▶(手前)温泉卵サラダ、(右)ガレット、(左)温泉卵のせ牛すじ丼



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大西 望先生

温泉卵サラダ

〈材料〉 ※1人あたり約92kcal

温泉卵	4個
ブロッコリー	1/2束
アスパラガス	4本
ジャガイモ	1個
粉チーズ	適量
パセリ	適量

- 〈作り方〉
- ① ブロッコリーとアスパラガスは食べやすい大きさに切り、茹でる。
 - ② ジャガイモは一口大に切り、水から茹で、串が通れば粉ふきにする。
 - ③ 皿に盛り合わせて温泉卵を盛り、粉チーズとパセリをふる。

ガレット

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約174kcal

生卵	1/2個分
もち麦粉	70g
水	200cc
塩	少々
ハム	4枚
ピザ用チーズ	適量
シメジ(マッシュルームでも可)	1パック
オリーブオイル	適量
塩	適量
コショウ	適量
サラダ油	少々
パセリ	少々
温泉卵	4個

- 〈作り方〉
- ① ④の生地を材料を混ぜ合わせ、1時間休ませる。
 - ② キノコは小さく切り(小房)、オリーブオイルで炒めて塩とコショウをふる。
 - ③ ハムは適当な大きさに切る。
 - ④ フライパンにサラダ油を薄く敷き、①を1/4量ずつ流しいれ、両面を焼く。
 - ⑤ ④に温泉卵、ハム、キノコ、チーズをのせ、余熱で加熱し、皿にうつす。パセリをふる。

温泉卵のせ牛すじ丼

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約608kcal

温泉卵	4個
牛すじ肉	500g
生姜	1かけ
ニンニク	2片
コンニャク	1枚
水	800cc
醤油	80cc
酒	50cc
砂糖	大さじ3
みりん	大さじ2
赤味噌	大さじ1
青ネギ	2本
一味唐辛子	適量
ご飯	茶わん4杯

- 〈作り方〉
- ① 牛すじ肉は適当な大きさに切り、さっと茹でて水に落とす。水気を切る。
 - ② コンニャクは小さめの一口大に切る。さっと茹でておく。
 - ③ 生姜は千切り、ニンニクはつぶして、青ネギは小口切りにする。
 - ④ 鍋に④の材料と①・②、生姜とニンニクを入れて火にかけ、沸けば弱火で煮込む。
 - ⑤ ④の最後に味噌を加える。
 - ⑥ 炊きたてご飯に⑤をかけ、温泉卵を落として、青ネギと一味唐辛子をふる。

のんで!のぞいて!
旬のみかんを搾ったジュースプレゼント!

応募期間

2012

12月31日

月

まで



【対象商品】
・ポンジュース 1L ペットボトル
・ポンジュース 500ml ペットボトル



ラッキーウィンドウ
「当たり」が出たら
必ずもらえる!

※キャンペーン商品は9月初旬頃より販売予定です

当たりが出たら 当たった!!

5,000名様に当たる!!

POM 愛媛みかん 旬ストレート100
(1Lペットボトル/6本入)

キャンペーン情報はこちらから

えひめ飲料 ホームページ

<http://www.ehime-inryo.co.jp>





ひめライスの 新米を食べて 愛媛ブランドを 当てよう!

キャンペーン応募期間 平成24年8月27日(月) ▶ 10月31日(水)

合計**1000名**様に当たる!



えひめの新米
穫れました。



Aコース (20g以上)

10
名様

道の国「愛媛」の道後温泉老舗旅館

大和屋本店
ペア宿泊券



Bコース (20g以上)

40
名様

愛媛が誇る世界有数のタオル産地「今治」

今治タオル
「雲ごこちタオル」セット



Cコース (20g以上)

60
名様

愛媛の美味しいブランド

伊予牛「絹の味」
すき焼き用ロース

愛媛
特産牛肉
(約600g)



Dコース (20g以上)

100
名様

誰にでも喜ばれる「美味しいギフト」

おこめギフト券
(お米引き換え価格2200円)



日本の美と心を極めた旅館のもてなしにホテルのサービスを添えてお出迎え。お食事は、海に、野に、山に自然に恵まれた瀬戸内の幸を心をこめて仕立てた美饈の数々。日本料理、西洋料理、中国料理と賑ふれも多彩に揃えています。気分に合わせて、お好みのお料理をお選びください。

※平成24年12月1日～平成25年3月31日まで有効
(12月31日～3月31日4時27～5時6分、休館日は除く)
※料理写真はイメージです。※月によって献立は変わります。



清らかな今治の水で、時間と手間ひまをかけて晒した糸を使用し、今までにない最高の柔らかさと吸水性。最上級の超長綿を使用しふんわりと雲のように織り上げました。また洗濯時に柔軟剤を加えなくても、さらさら感が持続します。使えば必ず感じとっていただけるネーミング通りの「雲ごこちタオル」です。

バスタオル2枚 + フェイスタオル2枚



愛媛の生産農家が高い飼育技術で仕上げる、伊予牛「絹の味」。安全な牛肉をお届けするため、素牛づくり、飼料づくり、飼育といった生産面から、加工、販売までを一貫して行っています。やわらかく、まろやかな舌ざわり。そして牛肉本来の、深く、繊細な旨味。「絹の味」と呼ぶにふさわしい上品な味わいを、心ゆくまでお楽しみください。

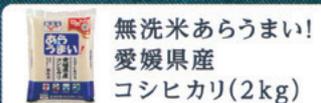
全農のおこめギフト券は、全国の「A、スーパー、デパート」及びお米販売店などで使えます。使用期限もありませんので、お祝いやお礼、記念品とさまざまな用途で便利にご活用いただけます。

※一部お取扱いできない店舗がございます。

※上記にはイメージ写真や調理写真が一部含まれています。※賞品は写真と色、デザイン等が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Wチャンス

さらにはずれた方の中から抽選で
790名様にプレゼント!



無洗米あらうまい!
愛媛県産
コシヒカリ(2kg)

〔応募方法〕

ひめライスの米袋左上に付いている「ひめマーク」を切り取り、Aコースは10kg分以上を1口(もち米1.4kgなら5枚1口)、Bコースは5kg分以上を1口(もち米1.4kgなら2枚1口)、C・Dコースは2kg分以上を1口(もち米1.4kgなら1枚1口)としてご応募ください。応募ハガキまたは郵便ハガキに、ご希望の賞品コース(「Aコース」「Bコース」「Cコース」「Dコース」のうち1つを選択)、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、購入店、ひめライスに対するご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。
※お一人様1口でもご応募いただけますが、一度につき一口とさせていただきます。

〔対象商品〕

ひめライス全商品(もち米含む)

〔応募先〕

〒791-3163 伊予郡松前町大字徳丸字五郎敷771-25
株式会社 ひめライス「新米キャンペーン係」

〔応募締切〕

2012年10月31日(水)当日消印有効

〔当選発表〕

厳正なる抽選の上、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。



米袋左上の「ひめマーク」を切り取って送ってね!

応募ハガキ1枚に対して10円を

「愛媛県えひめ愛媛(えがお)の助け合い基金」に寄付させていただきます。

今回の新米キャンペーンでは、応募ハガキ1枚につき10円を東日本大震災で被災され、県内に避難された方の生活支援や現地の被災者等への支援経費に充てるため、「愛媛県えひめ愛媛(えがお)の助け合い基金」を通じて、弊社より寄付させていただきます。
昨年度は2,161枚の応募集約ができました。